

- ・教室をめぐる動き ( 1 )
- ・鶴川14号館地理実習室の利用について ( 2 )
- ・地理情報処理室および図書資料室の利用について ( 2 )
- ・製本保存ぶん卒業論文主題(2003年度)一覧 ( 3 )
- ・教員の研究活動 ( 4 )
- ・2004年3月卒業生の進路・就職先 ( 6 )
- ・2004年度教員在室時間割 ( 7 )

## 教室をめぐる動き

この4月に次の人事発令がありました。

### < 非常勤講師の退任 >

橋爪 若子 先生 外国地誌(環太平洋地域) 地誌学(教倫:教職)  
雪野 出 先生 空中写真判読 地理データ分析入門 自然環境調査法 地理と人間生活(体:総合)

### < 非常勤講師の新任 >

吉永秀一郎 先生 日本の土壌環境  
谷口 智雅 先生 外国地誌(環太平洋地域) 地誌学(教倫:教職)  
佐々木明彦 先生 空中写真判読 地理データ分析入門 自然環境調査法 地理と人間生活(体:総合)

### < 大学院非常勤講師の退任 >

矢ヶ崎典隆 先生 地理・地域論特論2(人文)

### < 大学院非常勤講師の新任 >

井田 仁康 先生 地理・地域論特論2(人文)

今年度の専攻主任・学年担任・大学院幹事は以下の各先生です。

専攻主任 長谷川 均  
1年 加藤 幸治                      3年 野口 泰生  
2年 内田 順文                      4年 岡島 建  
大学院幹事 内田 順文

## 2004年度地理学教室行事予定

6月5日	国土館地理学会	12月10日	卒論提出締切
6月10・11日	1年地理野外実習	12月11日	国土館地理学会
10月5・6日	2年地理野外実習	2月14～16日	卒論公開口頭試験
10月26～29日	3年地理実習		

## 鶴川 1 4 号館地理実習室の利用について

1. 鶴川14号館4階の地理実習室は、学生の学習用に利用できます。実習室内に備え付けの図書は閲覧できますが、貸し出しはできません。無断で室外に持ち出すことは厳禁とします。また、地理学専攻学生専用の端末PC5台とプリンタ、スキャナが設置されています。情報科学センターの講習を受けた学生に限り、インターネット、メール、その他のソフト(オフィス系)を使用することができます。

2. 周辺教室の講義の迷惑とならないよう静かに学習するようにして下さい。また、盗難のおそれがあるので、室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。

### 利用時間と利用方法

毎日9:00~16:30

利用希望者は9号館文学部事務室で「施設等利用願」に必要事項を記入の上、カギを受け取る。  
必ず16:30までに施錠の上、文学部事務室にカギを返却する。

なお、下記の教員在室時間内(教員の講義時間中を含む)には自由に入室することができます。

### 教員の在室時間

月曜日 10:40~16:00 (長谷川)  
火曜日 10:30~15:00 (野口)  
水曜日 14:20~16:30 (内田)  
木曜日 10:30~14:30 (岡島)

### 実習室内備え付けの図書リスト(2003年度新規購入分)

「道路統計年報 2003年版」(国土交通省道路局企画課監修、全国道路利用者会議)

「港湾統計年報(平成13年版)」(国土交通省総合政策局情報管理部統計課、日本港湾協会)

「特定サービス産業実態調査報告書」(経済産業省経済産業政策局調査統計部 編、経済産業統計協会)

物品賃貸業編 平成14年 情報サービス業編 平成14年

物品賃貸業編 平成13年 情報サービス業編 平成13年

情報サービス業編 平成12年 情報サービス業編 平成11年

「平成11年サービス業基本調査報告」(総務省統計局、日本統計協会)

(第1巻)全国編 (第2巻)地域編 (第3巻)解説編

「平成13年 事業所・企業統計調査報告」

## 地理情報処理室および図書資料室の利用について

1. 世田谷10号館の地理情報処理室および図書資料室は、原則として教員が在学中のみ開け、それ以外の時間は施錠されます。つまり、教員が大学に来ていないときには、中へ入れません。教員の在室時間については、このニューズレターの教員在室表に示したとおりで、世田谷に最低一人の教員が来ている時間帯は、これらの部屋に入れることとなります(ただし、2階に研究室のない教員(長島・内田・磯谷・加藤)しかいない場合は、つねに鍵が開いているとは限りませんから、その場合は教員に告げて鍵を開けてもらう必要があります)。これ以外の時間帯でも、教員が学内にいれば鍵を開けてもらえます。教員を捜して下さい。

2. 情報処理室および図書室は、学校荒らし・空き巣常習者などに狙われやすく、盗難のおそれがあるので、室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。

### 研究室図書の閲覧および貸出方法

貸出は、「図書貸出簿」に書名・住所・氏名など必要事項を記入の後、必ず在室教員のチェックを受け、サインをもらって下さい。

返却も、必ず在室教員のチェックを受け、「図書貸出簿」にサインをもらって、各自責任を持って所定の書架に戻して下さい。

貸し出し期限は2週間です。厳守して下さい。

研究室備品の地図・空中写真・製図道具等は、情報処理室内でのみ閲覧・利用して下さい。

利用する人は(教員も含めて)、見たり借りたりした本を必ずもとの位置に戻しておくようにして下さい。本の位置を変えないようにすることは、利用しやすい図書室であるために守るべきマナーです。

以上のきまりを守らず、無断で図書などを持ち出した者、貸し出し期限を守れない者には、相応の懲罰を課します。

### 研究室購入主要図書資料リスト(2003年度)

「生物統計学入門」、「大都市衰退地区の再生」、「幕藩社会の地域構造」、「経済地理学の成果と課題」、「20世紀の日本の都市地理学」、「江戸名所図会(CD-ROM)」、「新版日本地形論」、「中国を読む事典」、「保全と復元の生物学」、「森をはかる」、「北陸地方における農業の構造変容」、一太郎パツ辞典類、一太郎・花子マニュアル、「レッドデータラツ」ほか多数。

### 研究室購入主要備品リスト(2003年度)

MacPC、A3スキャナ、反射実体鏡、GarminハンディGPS、学生用PC、OHP(鶴川用)、パソコンソフト：SPSS数量化理論プログラム、温度センサー用ソフト、PlugX-Shape、Arc Pad Application Builder、リモソフト(ENVI Runtime)、など

\*これらは教員の指導のもと、学生が使用することができます。

## 製本保存ぶん卒業論文主題(2003年度)一覧

- ・3月に行われた全国地理学科卒業論文発表大会では、戸塚 裕一さんと福島 克さんが発表しました。
- ・1986年以降に審査された卒論のなかから、優秀なものや資料的価値の高い論文は製本され公開されています。
- ・年度別、分野別に製本された卒論は図書資料室で閲覧できます。03年度分は、以下の論文が製本・保存されます。

番号	氏名	表 題	所属ゼミ
<自然 1>			
2	桑田 裕子	茨城県阿字ヶ浦海岸における近年の海浜変形	長谷川
4	木下 奏緑	農業的土地利用の季節変化と赤土流出との関連 沖縄県石垣島轟川を例に	長谷川
8	狩野 奈々	多摩市における都市化と水害の危険性の考察	長谷川
17	里村 絵美	3DCADを用いた相模川下流域海老名周辺の埋没段丘の復元	長谷川
67	嶋田 昇馬	山地河川地域における地質と水系網特性の関係について 木曾川上流部を例に	長谷川
<自然 2>			
1	星野 秀明	軽井沢における植生景観の特徴について	磯谷
23	釜井 勝浩	三浦半島におけるヨシノボリ類の分布限界について	磯谷
28	戸塚 裕一	大規模住宅団地における気温分布とヒートアイランド強度について - 埼玉県東南部三郷団地を例に -	野口
40	今井 正人	日本海側における気温と積雪の関係について	野口
42	須藤 亘	三浦半島南部の海岸草本植生 人為の有無に着目して	磯谷
46	中村 冬姫	三浦半島中部におけるタイワンリスの分布と分布拡大	磯谷
61	佐々木陽一朗	仙台の海陸風	野口
<人文>			
18	鹿島 芙深	東京の外国人宿にみる「日本文化」の演出	内田
33	立花 誠治	東京都・神奈川県におけるブックオフの立地展開	加藤
35	加藤 郷	静岡県浜松市における農業生産法人の成立と存続要因	長島
47	中島 晶子	地名変更に伴う地域への愛着の変化 - 埼玉県さいたま市を事例として -	内田
59	池澤 鉄平	防火機能に焦点を当てた城下町の空間構造の研究 - 群馬県近世安中城下町を中心に -	岡島
68	福島 克	埼玉高速鉄道線開通による沿線地域への影響	加藤
81	金原 正人	有機農産物認証団体の活動が農家に与える影響 - 千葉県と神奈川県を事例として -	長島

# 教員の研究活動

長島 弘道 教授

論文：

The Supply System and Demand for Compost in Japan, The Sustainability of Rural Systems: A Social and Cultural Construction, Proceedings of the Colloquium of the Commission on the Sustainability of Rural Systems of the International Geographical Union, AVL DIFFUSION(France), p.235-244, March 2003.

その他：

書評：矢ヶ崎典隆・斎藤功・菅野峰明編著「アメリカ大平原—食糧基地の形成と持続性—」，古今書院，2003年，  
経済地理学年報，第49巻，第5号，p.88-90，2003。

野口 泰生 教授

論文：

野口泰生（2003） 都心と郊外との気温差として表現された東京のヒートアイランド現象： 寒冬・暖冬年、冷夏・  
暑夏年の比較、国土館大学文学部人文学会紀要、36号、101-113。

長谷川 均 教授

< 講演録 >

・陸が変われば海も変わる 開発行為に伴うサンゴ礁環境の変化、第142回沖縄問題研究会、(財)沖縄協会  
(講演録)季刊沖縄、第24号：2003冬・春号、1-11ページ

< 報告書 >

・「琉球諸島における大正期以降の土地利用の変化 - GISを使った復元と解析を中心として -」(財)国土地理  
協会 平成14年度学術研究助成 成果報告書、全116ページ(付図含む)。渡久地健との共著。

< 依頼原稿 >

・「新石垣空港カラ岳陸上案はなぜダメなのか(2)、エーネーナラヌ、第52号、4-6pp.2003年10月10日。  
・「自然を読み解くための道具たち 衛星画像データ」(自然保護、2003年11/12号、7ページ) 」

< 文献紹介 >

・「CDブック 日本の海浜地形」 福本紘著、WWF 2003/10 No.303,20p.

< 講演 >

・「白保サンゴ礁の重要性」、八重山・白保の海を守る会主催、2004/02/27、環境パートナーシップオフィス  
「エボ会議室」  
・Real Nature Seminar for Students (自然保護の仕事 道のりを君に伝えたい)、2004/02/28、(財)日  
本自然保護協会主催、モンベル渋谷店イベントスペース。

< 学会活動 >

・「地学雑誌」編集委員  
・日本地理学会「国際交流(渉外)専門委員会」委員、2003年度で終わり  
・(財)日本自然保護協会「泡瀬干潟自然環境調査委員会」委員  
・国際サンゴ礁シンポジウム招致委員、  
・日本リモートセンシング学会 企画委員

< 研究助成 >

・2003(H15)年度WWFジャパン自然保護助成事業 90万円  
石垣島轟川流域における農業的土地利用の季節変化と赤土流出との関連  
・2004(H16)年度WWFジャパン自然保護助成事業 110万円  
石垣島轟川流域における農業的土地利用の季節変化と赤土流出との関連

< 取材協力 >

・「地理・環境学 サンゴの海を守れ」学問カフェテリアSpecialレクチャー、ベネッセ「高校生大学」(8月

号.Web版)

- ・週刊 SPA！ 2003年4/22号 「戦慄のシミュレーション」 海水浴の水着ギャルが消える？ 砂浜とサンゴ礁の消失で日本のリゾートは壊滅的な状態になる！

#### 内田 順文 助教授

論文：

- アニメ映画の風景としての農村 宮崎駿・高畑勲作品に描かれた農村風景 . 石原潤編『農村空間の研究(下)』大明堂, 2003, pp. 429-444 .

#### 岡島 建 助教授

論文：

- 近代日本における内陸水運の展開 研究動向と展望、石原潤編『農村空間の研究(上)』大明堂、pp.309-324、2003。

学会活動：

- 交通史研究会常任委員(編集担当)
- 歴史地理学会運営委員(編集委員)

その他：

- 『日本交通史辞典』丸山・小風・中村編 吉川弘文館, 2003、東京関係の項目を執筆。

#### 磯谷 達宏 助教授

論文：

- 植生景観の概念と人里における植生景観研究の意義. 国土館大学人文学会紀要, 第36号, 115-127. 2003年12月.

口頭発表：

- 内山慶之・磯谷達宏. 伊豆半島南東部の新第三系と第四紀火山における二次林の分布と組成. 植生学会第8回大会. 2003年10月.

学会活動：

- 日本地理学会財務専門委員
- 植生学会会計監事

その他：

- 『北方植生の生態学』(沖津 進 著)の書評. 地理学評論, 77(2), 115-116. 2004年2月.

#### 加藤 幸治 講師

論文：

- 加藤幸治(2003): IT・インターネットを支える情報サービス業. 地理教育研究会編『授業のための日本地理(第4版)』, 古今書院, pp.95-98.

- 加藤幸治(2004): 1990年代後半における日本の産業別従業者数の地域的動向. 『国土館大学地理学報告』, No.12, pp.1-16.

学会活動：

- 経済地理学会編集委員(2001年6月-).
- 経済地理学の成果と課題第 集編集委員(2001年6月-2003年6月).
- 経済地理学会第50回大会実行委員会ハード部門委員(2002年12月-2003年6月).

## 2004年3月卒業生の進路・就職先

茨城県自然博物館 ホームセンターカインズ 不動産業 湘南フットサルクラブ 茨城県警察 バイク急便  
相鉄ローゼン (株)リビングライフ(不動産) 国士舘大学大学院 (株)とりせん 日産プリンス ビックカメラ  
茨城大学大学院 (株)モリノプライダルサロン 富士薬品 慶応個人指導塾 赤城乳業

ただし、2月初めの時点で教室に報告のあった分のみ。

### 教員の研究室と電話番号・メールアドレス

[ 世田谷 ] 長島：10号館4F1025研究室 03-5481-5278 E-mail:nagasima@kokushikan.ac.jp  
野口：10号館2F1004研究室 03-5481-3246 E-mail:noguchi@kokushikan.ac.jp  
長谷川：10号館2F1003研究室 03-5481-5247 E-mail:hasegawa@kokushikan.ac.jp  
内田：10号館4F1025研究室 03-5481-5291 E-mail:uchida@kokushikan.ac.jp  
岡島：10号館2F1002研究室 03-5481-3245 E-mail:okajima@kokushikan.ac.jp  
磯谷・加藤：10号館2F地理情報処理室または教員コミュニティルーム  
[ 鶴川 ] 磯谷：12号館3F302研究室 042-736-8125 E-mail:isogai@kokushikan.ac.jp  
加藤：12号館3F307研究室 042-736-8130 E-mail:k2kato@kokushikan.ac.jp  
長島・長谷川・内田・岡島：14号館4F地理準備室

次ページ記載の時間以外の面会、相談などはAppointment によります。相談、質問などは教員の出勤中に済ませて下さい。教員の自宅、特に非常勤の先生宅への電話は極力ひかえて下さい。

教室主任長谷川より：原則として、月・土以外は世田谷研究室にありますが、相談など時間のかかる面接等に関しては、事前にアポをとってからにして下さい。

## 2004年度 教員在室時間割

【凡例】 Na:長島 No:野口 Ha:長谷川 Uc:内田 Ok:岡島 Is:磯谷 Ka:加藤  
 講義中      オフィスアワー      在室の場合が多い

\* 1 : 春期のみ講義。      \* 2 : 秋期のみ講義。

\* 3 : 第3または第2金曜日は教室会議(12:00-)・教授会(13:00-)があり全員が世田谷に出校しています。

		校舎	9:00-10:30	10:40-12:10	12:50-14:20	14:30-16:00	16:10-17:40	
月	世田谷		Na					18:00
		No	.....					
		Ok	.....					
	鶴川		Ha					
		Is	.....					
		Ka	.....					
火	世田谷			Na	Ha			19:30
		Ok	*2	.....	.....			
			Ka	.....	.....			
	鶴川		No	*1	.....			
			Is	.....	.....			
水	世田谷				Ha			19:30
		Is	.....		.....			
	鶴川				Uc	*1	.....	
					Ka	.....	.....	
木	世田谷		No	.....				19:30
		Uc	Ha	.....	Ha			
				Na	.....			
	鶴川		Ok	.....	Is	.....		
			Ka	.....	.....			
	多摩		Is	.....				
金	世田谷		Ha	.....				19:30
	* 3		Ok	.....				
	鶴川		Is	.....				
		Ka	.....					
土	世田谷							
		Uc	.....					